



St.Mary's

セント・マリーズ

第26号

2016年8月

ご自由に
お持ちください



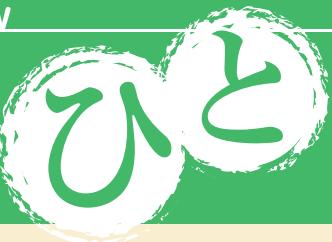
産科、婦人科、新生児科、小児科、小児外科、小児歯科、矯正歯科の医師と臨床心理士

目 次

INDEX

2	インタビュー「ひと」 小児総合研究センター・ レット症候群研究センター長 松石豊次郎	8	医療トピックス 連載「医療のしくみ ここがポイント」 [02] 地域包括ケアシステム	13	健康エクササイズ+クッキング 「ロコモ」予防 筋持久力を鍛えよう トマトカレー 夏バテなんか飛んでいけ～
3-7	診療科訪問 産科／新生児科／小児科／ 小児歯科／矯正歯科	9-11	特集 「さようなら！ありがとう！ 新生児・小児救急医療センター」	14	紹介状なしで受診される患者さんへ 人間ドック・PET-CTのご案内 ほか
		12	病気と向き合う 子宮がん	別刷	外来診療日一覧

今回のひと



聖マリア病院

小児総合研究センター・レット症候群研究センター長

まつ いし とよ じ ろう

松石 豊次郎

1975年久留米大学医学部卒業。同年久留米大学助手、78~79年鳥取大学脳神経小児科留学、87~89年米国ノースウェスタン大学小児記念病院神経科留学、87年久留米大学講師、90年旧国際協力事業団(JICA)によるパキスタン・イスラマバード小児病院出張、93年久留米大学助教授、2001年久留米大学小児科主任教授を経て、15年4月より現職。「こどもの日」が制定された1949年5月5日生まれの67歳。

小児科医のノウハウ伝授 難病克服へ治療法の確立めざす

——脳波判読セミナーを院内で開催されましたね。

てんかんや熱けいれんを診断する場合、脳波が重要な手がかりになります。小児の正常脳波は12歳くらいまで変化し続け、異常脳波でも良性のケースや発作が止まりにくいケース、脳外科治療を行うべきケースなど、さまざまです。

若い医師向けのトレーニング・セミナーは、こうした小児脳波の特徴を理解し、判読するノウハウを身につけてもらうため、約1年かけ5回に分けて開催しました。当院の小児科医は、週に5件から10件ほどの脳波検査をオーダーします。これまで久留米大学に判読を依頼していましたが、今では自分たちで読み解き、診療録に所見を書き込むようになりました。日々成長する若い医師といっしょに診療の現場に立つことができ、大いにやりがいを感じています。

患者さんの診察には十分な時間をかけ、家族の話もていねいに聞くよう指導しています。けいれん発作では、いつ、どれくらいの時間、どのような状態だったのか、具体的に聞き取り、病歴として記録することが大切です。

——新しい時代の小児科医には、何が求められているのでしょうか。

1977年から翌年にかけて、聖マリア病院で「修行」しました。当時はまだ医師が少なく、先輩医師の背中を見ながら、知識やノウハウを懸命に身につけようとしたものです。先人の「秘伝」はとても有益ですが、今は診療科や医師が大幅に増え、体系的に教え学ぶ教育システムが整っています。当院は、国公立病院と並ぶ規模を誇る一方で、医師や看護師、その他のメディカルスタッフを含む全員のコミュニケーションがスムーズで、仕事がやりやすいですね。より高水準の医療が求められる中、当院



が久留米・筑後地区という地域に根ざした医療を行うのは当然です。その上で、小児科医は個々の得意分野を軸足にした「総合医」を目指すべきではないでしょうか。

——女児の難病、レット症候群に取り組んで来られました。新たな治療への展望は見えてきましたか。

レット症候群という神経系の発達障害に出会って30年が過ぎました。1歳前後から3歳までに、手足をうまく動かすことができなくなり、常同運動と言われる、手もみ、手絞り様の特有な運動が出て、それまで出ていた言葉が出なくなります。てんかんや自閉症状も現れます。国内には20歳までの患者さんが約1100人います。久留米大学と聖マリア病院は「親の会」の協力を得て、このうち約80人をフォローし、国の研究班をリードしてきました。

MECP2という遺伝子の変異がおもな原因だということは判明していますが、詳細な発病メカニズムは不明で効果的な治療方法も分かっていませんでした。そんな中、研究班は画期的な治療法を開発し、特許出願も無事終わりました。医薬品などを開発段階から審査・指導するPMDA(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)でプレゼンテーションをすでに終え、確かな感触を得ています。基礎研究も行い、海外の医学専門誌にも研究概要が掲載され、今後の治療研究に光が見えてきました。

——スポーツジムで音楽鑑賞だとか。

認知症予防にモーツアルトの音楽が効果的だと聞き、ヘッドフォン姿で週2回、3時間ほど汗を流します。ところが、しばらく前にウォーカーが行方不明になり、今はもっぱら研究室のミニコンポで聴いています。けさの選曲はベルリオーズの「幻想交響曲」。体調万全ではない小澤征爾さんが指揮する姿と息づかいを想像すると、研究への気力が静かにみなぎってきます。

introduction

産科

増えるハイリスク症例、他科と連携を密に

聖マリア母子総合医療センターは、筑後地域に2つ存在する総合周産期母子医療センターの1つで、当科はその産科部門を担当しています。

救急診療 早産関連疾患を中心

切迫早産や前期破水、妊娠高血圧症候群などの早産に関連するような疾患を中心に、さまざまなハイリスク症例を開業医の先生方から母体搬送システムによりご紹介いただいている。また、いろいろな合併症のある妊婦さんや出血の多い褥婦さんの来院も多く、救急科や放射線科、糖尿病内分泌内科などを中心に他科の協力を得ながら診療を行っています。

外来診療 胎児の成長を超音波使い評価

母子手帳に記載してある検査とともに、胎児の成長や羊水量、胎盤の位置などを超音波断層法で評価したり、胎児の心音の変化を記録して胎児の健康を評価します。最近では、ハイリスク妊娠の早めのご紹介も増加しています。

入院診療 ハイリスク妊娠にMFICUも

入院して行う治療や分娩管理は、地域医療支援棟4階病棟にある母子総合医療センターで行います。このセンターには、一般ベッドのほかにハイリスク妊娠の方へMFICU(母体胎児集中治療室)が用意されています。センターでは正常分娩や異常分娩はもちろん、産科救急疾患に対しても24時間体制で対応しています。早産や子宮内発育不全などで生まれた低出生体重児に関しては、同センター内の新生児科で管理を行います。また、一般的な新生児に関しても新生児科医師による診察も行われます。

■総分娩数 (2015年)

単胎	653件
双胎	43件
品胎	1件
合計	697件

■分娩様式 (2015年)

経産分娩	388 件
帝王切開数	309 件
帝切後経産分娩	2 件



産科病棟看護スタッフは、「お母さんにも赤ちゃんにも優しい」をモットーに妊娠期から産後1ヶ月まで育児支援に尽力しています。写真は授乳支援の様子

産科診療部長 下村卓也

昨年1年間の分娩数は697件で、そのうち309件は帝王切開術でした。ハイリスク妊娠などの母体搬送も199件あり、産褥搬送や外来紹介当日入院を含めると244件の救急入院がありました。また、産婦人科全体では、村上文洋婦人科診療部長を中心に婦人科救急や婦人科腫瘍も診療しています。そのため、産婦人科医師総動員で、日々の診療に取り組んでいます。これからも、安全な医療を目指して精進いたしますので、どうぞよろしくお願いします。



introduction

新生児科

新生児低体温療法登録事業にも参加

当院新生児科は、福岡県より認定された病床数がNICU33床、GCU49床ですが、診療や看護の質を維持するために、実際はNICU21床(看護師配置3:1)、GCU21床(看護師配置7:1)で運営しています。

新病棟移転 広々としたNICU

2015年9月に病棟移転に伴い新病棟(旧成人ICUを改装)に移りましたが、旧病棟に比べると「柱による死角が大きい」「産科病棟との距離が遠い」「外が見えない」「温度管理が困難」など、旧病棟の優位性とその機能性が非常に優れていたことを改めて実感しています。

しかし、NICUの広さという点では、旧病棟と比較しても新病棟は遜色ない設計になっていると思います。

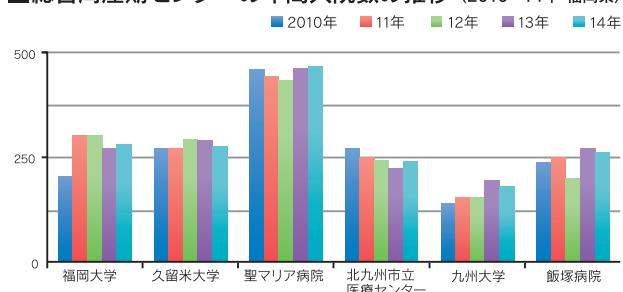
診療内容 目立つ入院数、年486件も

当科は早産児はもとより日齢28までの病的新生児が入院の対象となります。入院診療の他、院外出生病児の救急車による迎え搬送、外来診療(退院後フォローアップ、一般新生児外来)が主な診療内容です。2015年の入院総数は486例で、その内訳は院内出生例が237例、院外出生例が249例です。福岡県内にある総合周産期センターの中では入院数が最も多いのが特徴です(左下グラフ)。在胎週数別、出生体重別の内訳は右下グラフを参照ください。人工呼吸管理は88例、非挿管下の呼吸補助(経鼻的持続陽圧呼吸)は35例に施行しています。

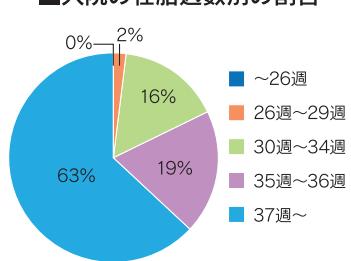
最近は新生児低体温療法登録事業に参加して中等症～重症の低酸素虚血性脳症に対する低体温療法にも積極的に臨んでいます。2012年～現在、合計33例に同治療を実施しています。

また、より安全で質の高い新生児搬送の確立を目指して、スマートフォンのビデオ通話を用いた双方向性の情報交換を導入しています。

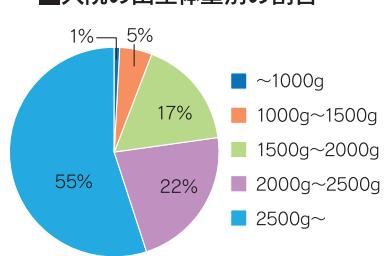
■総合周産期センターの年間入院数の推移 (2010～14年・福岡県)



■入院の在胎週数別の割合



■入院の出生体重別の割合



新生児科診療部長 久野正

外来専従の医師が2人、入院診療に対応する医師が5～6人で、新生児医療を専門としない若手小児科医師の援助(3人)を含めた現況です。毎日当直1人、拘束1人体制を敷いています。当直業務に関しては、久留米大学病院新生児センターより月4回、柳川市の藤野医院より藤野浩先生が月2回、当院小児循環器内科の医師が月2回、援助いただいている。至らない点も多くございますが、赤ちゃんとそのご家族の幸福を第一に考えて、診療に臨んでいます。



introduction

小児科

“いのち”に向き合い、寄り添う医療を

小児科は、久留米地区を中心とした福岡県南部という一つの医療圏において、24時間365日途切れることのない小児救急医療をこれからも継続していきます。

診療実績

2015年度の夜間救急外来を含む外来患者数は38,978人、1日平均約100人以上が受診しています。救急車搬入は年間1,200件を超え、今後も増加が予想されます。年間の紹介患者数は1,943人、入院患者数は1,396人にのぼり、平均在院日数は6日間前後で、小児病棟・集中治療室はフル活動しています。

特に、けいれん重積／群発・意識障害を主訴とするてんかん、急性脳炎・脳症、細菌性髄膜炎、熱中症などの急性中枢神経疾患は小児集中治療室で管理治療を行っています。

脳低温療法や急性血液浄化療法は、脳蘇生における治療戦略として積極的に取り組んでいます。

外来診療

開業医・関連病院からの紹介患者数は着実に増加しており、年間1,943人（紹介率47%）を超える、紹介受診は1日平均5人以上です。当院外来を受診される患者さんやかかりつけ医のニーズに応えられるように、聖マリア小児科としての役割の明確化が求められています。午後の外来は、久留米大学病院の協力のもと、専門外来や紹介患者の対応拡大を図りたいと考えています。

【久留米大学／医療センター非常勤医師による専門外来：完全予約制】

神経：永光信一郎先生、腎臓：財津亜友子先生、アレルギー：岡松由記先生・岩谷麻実先生

スタッフ体制

スタッフは大部敬三副院長、松石豊次郎医師（小児総合研究センター・レット症候群研究センター長）をはじめ総勢15人。そのうち、小児専門医の資格を持つ指導医は9人、初期研修医は常に3～5人が小児科研修を行っています。

子育て支援の充実に向けて

要支援・要保護児童を含む何らかの社会的介入が求められるケースへの対応の充実が、今病院に求められています。漢字の「心」ではなく「こころ」としているのは、臓器としての「心臓」ではなく「こころ」と向き合いそして子どもの代弁者として寄り添う医療、つまり聖マリア病院小児科における医療の原点と考えます。地域の医療機関が密に連携を行い、地域全体で子どもたちの健全な発育を支える体制を構築することで、より良い小児医療サービスを提供します。

小児科診療部長 秋田幸大

子どもたちが元気になって見せてくれる“ご機嫌な笑顔”から、私たちも元気をもらっています。未来を託す子どもたちの健やかな成長を願い、スタッフ一同これからも小児救急医療を中心として真摯に取り組んで参ります。これからもよろしくお願ひします。



introduction

小児歯科

全身麻酔下治療は年間約150例

小児歯科は、地域の歯科では治療が困難な方を中心に、低年齢児、障害児および有病児の方々、外科治療が必要な方々の診療を行っています。

診療内容

口唇口蓋裂外来も開設

成長過程にある小児の歯・口および顎顔面領域の疾患の治療および予防を行うことにより、健全な口腔機能の育成を行っています。障害児および有病児の歯科治療および口腔ケアも行っています。また、専門外来として口唇口蓋裂外来を毎週火曜に行ってています。

特徴・実績

年齢に応じた適切な治療を

小児の虫歯治療、小児の口腔内小手術、口唇口蓋裂児の早期治療、有病児・障害児の歯科治療、入院中の口腔ケアなどを行っています。

治療は、年齢や協力状態に応じた適切な治療を行います。笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法、全身麻酔下での歯科治療なども応用しています。全身麻酔下での治療は、年間に約150例ほど行っています。

また、成長過程に見られる歯列や咬合異常に対する咬合誘導治療は、矯正歯科と連携して治療を行っています。

新生児期の唇顎口蓋裂児には、Hotz型人工口蓋床やPNAM(鼻歯槽形成法)を用いて、哺乳障害の除去および上顎歯槽弓および外鼻形態の改善を行います。

スタッフ体制

多職種がスムーズな診療

専門の歯科医師、歯科衛生士、麻酔科医、看護師、助産師、言語聴覚士などの多職種のスタッフが、患者さんのためにスムーズな診療を行えるよう連携を取り合っています。また、必要に応じて他科の医師とも密接に連携が取れることが当院の特徴でもあります。

小児歯科診療部長 湯浅健司

当科では、地域の歯科医院での治療が困難な方々を中心に診療を行っています。
お口の中で気になること、困ったことがありましたら、当科外来までご連絡ください。



矯正歯科

保険診療での治療に注力

「むし歯の洪水」の時代は終わりました。むし歯のために永久歯を失った経験のある小学生は、ほとんどいません。これからは、その永久歯を一生使える状態で保つことが大切です。そのためにはフッ素の応用での歯質の強化、メリハリのある食生活への改善とともに、むし歯および歯周病リスクを低減する口腔内環境への歯列矯正が注目されています。

診療内容 装置使い歯の移動、骨の改造促す

悪い歯並びや噛み合わせがあると、①顎の正常な成長・発育が阻害される、②ますます歯並びや噛み合わせが悪くなる、③硬い食物を食べることが困難になる、④むし歯や歯周病になりやすく、歯の寿命が短くなる、⑤口元が悪く、劣等感を感じことがある、と言われています。

口をぽかんと開けたままの生活、鼻疾患や扁桃肥大と関連した口呼吸習慣があると、口腔内乾燥を引き起こし、健全な唾液の防御作用を妨げます。舌の運動機能異常も歯列に影響します。除去できる原因是取り除き、矯正装置を使うことによって歯の移動を行い、骨の改造を促すことができます。

目標 正しい咀嚼嚥下・発音機能を獲得

矯正歯科では、こうした口腔内環境を創り出していくことを目標にしています。結果的に正常な咀嚼嚥下機能を獲得し、発音機能を改善します。

グローバル化する現代、将来の日本を支える子供たちに「口から育つところからだ」「口元を隠さない笑顔をすべての子供たちに」を合言葉に、世界に通用する口元を提供することが私たち大人の務めです。

矯正歯科診療部長 森下格

聖マリア病院矯正歯科は保険診療での矯正歯科治療に力を注いでいます。一般的歯科矯正は保険適応外ですが、高度顎変形による咬合のずれに対して顎切手術を併用して改善する顎変形症の治療、および厚生労働大臣が定める疾患(下欄)に対する歯科矯正は保険給付の対象となります。現在治療中の患者のほぼ半数の方がこの制度を利用しています。



保険給付の対象となる歯科矯正の原因疾患一覧

- | | | |
|--|---|--|
| ①唇顎口蓋裂 ②ゴールデンバー症候群(鰓弓異常症を含む) ③鎖骨・頭蓋骨異形成 ④トリチャーコリンズ症候群 ⑤ピエールロバン症候群 ⑥ダウントン症候群 ⑦ラッセルシルバー症候群 ⑧ターナー症候群 ⑨ベックウィズ・ヴィードマン症候群 ⑩ロンベルグ症候群 ⑪先天性ミオパチー(先天性筋ジストロフィーを含む) ⑫顔面半側肥大症 ⑬エリス・ヴァン・クレベルド症候群 ⑭軟骨形成不全症 ⑮外胚葉異形成症 ⑯神経線維腫症 | ⑯アントニン症候群 ⑰基底細胞母斑症候群 ⑱ヌーナン症候群 ⑲マルファン症候群 ⑳プラダーウィリー症候群 ㉑顔面裂 ㉒大理石骨病 ㉓色素失調症 ㉔口・顔・指症候群 ㉕メービウス症候群 ㉖カブキ症候群 ㉗クリッペル・トレノーネイ・ウェーバー症候群 ㉘ウイリアムズ症候群 ㉙ビンダー症候群 ㉚スティックラー症候群 ㉛小舌症 ㉜頭蓋骨癒合症(クルーゾン症候群、尖頭合指症を含む) ㉝骨形成不全症 ㉞口笛顔貌症候群 ㉟ルビ | ㉟ンスタイン-ティビ症候群 ㉟常染色体欠失症候群 ㉟ラーセン症候群 ㉟濃化異骨症 ㉟6歯以上の先天性部分(性)無歯症 ㉟チャージ症候群 ㉟マーシャル症候群 ㉟成長ホルモン分泌不全性低身長症 ㉟ポリエップス症候群 ㉟リング18症候群 ㉟リンパ管腫 ㉟全前脳(胞)症 ㉟クラインフェルター症候群 ㉟偽性低アルドステロン症(ゴードン症候群) ㉟ソトス症候群 ㉟グリコサミノグリカン代謝障害(ムコ多糖症) |
|--|---|--|

医療のしくみ



複雑で分かりにくいといわれる日本の医療制度。シリーズ「医療のしくみ ここがポイント」は、新聞やテレビによく出る言葉をやさしく解説します。第2回は「地域包括ケアシステム」。担当は聖マリア健康科学研究所の平田輝昭所長です。

02 地域包括ケアシステム

最近「地域包括ケア」という言葉がしばしば使われます。厚生労働省のホームページによると、「地域包括ケアシステム」とは「高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような地域の包括的な支援・サービス提供体制」のこと、各地域で推進していくとされています。

これは、2012年の「医療と介護の一体改革」における介護保険法の改正で、国・地方公共団体は「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」という専門的なサービスと、その前提としての「住まい」「生活支援・福祉サービス」が切れ目なく提供される包括的なシステムの推進に努めなければならないと定められたのです。これまでもいろいろな取り組みが各地域で綿々と実施されてきましたが、これをさらに強めようということなのです。

しかし、今、強く呼ばれる背景には、世界に類を見ない高齢化、若年人口の減少、医療保険・介護保険などの社会保障費の増加と赤字国債などによる1,000兆円を上回る債務残高という大きな問題があるからです。

今 後、超高齢社会を迎えるにあたり、医療や介護を必要とする老人は大幅に増加しますが、国の台所には、医療保険も介護保険も今のペースで増加させる余裕はまったくないのです。一方で住民所得の大きな増加も期待できないことから保険料の増加も限界があります。

厚生労働省が考える地域包括ケアシステム

自助・互助促しサービス資源を効率活用

このような状況を考えると、「地域包括ケアシステム」は、費用がかさむサービス供給体制を充実させようというよりは、今ある資源を効率的に活用し、組み合わせながらできるだけサービスレベルを落とさずに超高齢社会を乗り切るための再構築であるという厳しい認識を持つ必要があるようです。

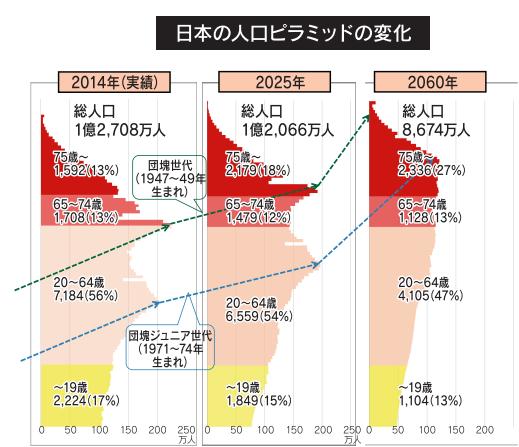
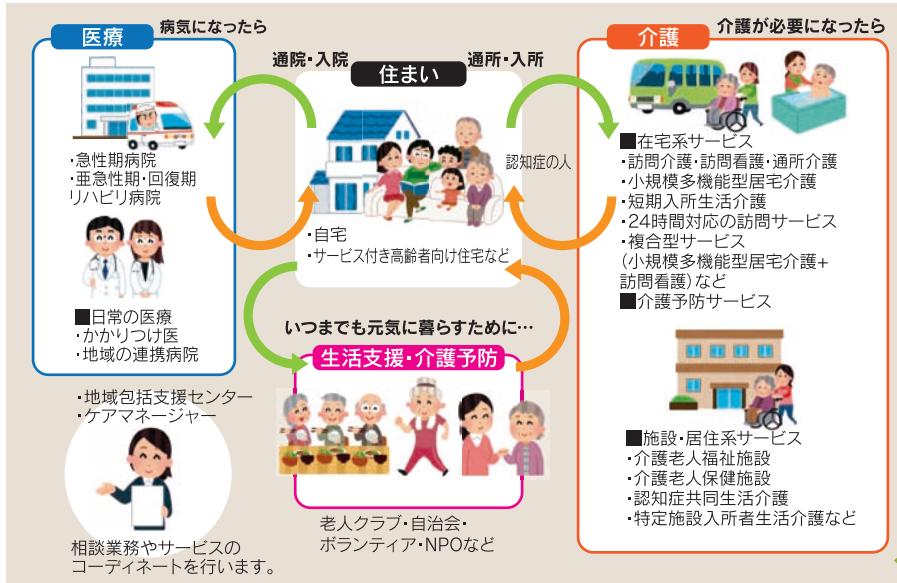
厚 務省の言葉のように美しい将来を想像するのではなく、難しいと思われます。同じ資料の中に小さくですが「少子高齢化や財政状況から、(介護保険のような)共助や(一般財源による高齢者福祉事業等)公助の大幅な拡充を期待することは難しく、(自らの健康管理のような)自助や(ボランティア・住民組織の活動のような)互助の役割が大きくなることを意識した取り組みが必要」とも記述されています。

私たちは、高齢になつても健康でいられるよう「自分の体は自分で守る」という気持ちで、生活習慣の改善に心がけることが、ますます重要になります。

また、医療、介護などのサービスを提供する側に求められるのは、住民側からみて、むだのない、できるだけ効率的なサービスの提供であり、そのためには常日頃から関係者の連絡を密に行い、住民にとって何が必要か、サービスをどう変えていくかを検討することを考えます。



聖マリア健康科学研究所
平田輝昭 所長



※地域包括システムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域(具体的には中学校区)を単位として想定

聖マリア病院の新生児・小児救急医療センター（小児棟）の解体工事が9月から本格化します。同

センターは1978年7月以来、37年間にわたり久留米・筑後地区の新生児・小児医療の中枢を担つてきました。医師や看護師、その他スタッフとして同センターで働いた皆さんに当時の思い出などを寄せていただきました。ご協力くださった方々に感謝いたします。(敬称略・五十音順)

井手信
(社会福祉法人福成会理事長、学校法人聖マリア学



同じ時代を共有した私は
万感の思いです。救命された子供た
ちの中にはマリアの学生あるいは職
員となつた方もおられます。時の流
れを見守つてくださった大きなマリ
ア様（聖母子）＝写真の御像は学
院の新図書館に移設され、次世代の
看護学生を再び見守つてくださるこ
ととなりました。神に感謝。



江口寛正（聖マリア病院環境管理部長）私は、1979年4月に施設管理部に入職し、新生児・小児救急医療センターの最新設備とそこに入院している多くの小さな赤ちゃんに驚きました。

その後は卒業して成人系で勤めていた私でしたが、今回縁あつて新生児科・小児科を担当することになり、医療・看護の形態は変わつているものの、当時からの志は今も変わることなく脈々と受け継がれていくと感じています。長い間見守つてくださいり、ありがとうございます。

時でした。そこは、小さな小さな体で、尊い命が一生懸命輝いており、とても緊迫した場所と、いう印象を持ったことを覚えています。

大野千代美（聖マリア病院診療統括部門2 管理師長）初めて新生児センターに足を踏み入れたのは、看護学生時代の実習の

楠田美禰子、
耕三の名氏。一



下部文三



大部敬三（聖マリア病院診療統一部門2副院長）1988年
2年私たち小児科医や
看護師とともに、この
センターで危機的状況
を乗り越えた赤ちゃんたちが、すでに34歳となつて現代社会
の中核を担い、2002年私を統
括責任者としたこの旧小児棟も
様々な病気を克服した多くの子どもたちが、14歳を越える歳となり次世代
の社会を担う準備をしています。（）
れこそが小児科医の本分であり、その場を提供してくれた旧小児棟に感謝の意を表します。どうもありがと
う。

は、私が31歳の時でした。経験不足ながらも無我夢中で取り組みました。当時の井手一郎先生はじめ病院スタッフの方々のご指導とご協力、また戸田建設の出水清美作業所長の多岐にわたる助言で、何とか完成の日を迎えることができました。高齢者といわれる年齢になつた私の青春の輝ける思い出です。（福岡県古賀市花鶴丘3丁目）



田中洋二
（日中洋二建築事務所代表）三島設計事務所入社8年目に
新生児・小児救急医療センターの意匠設計の
担当を命じられたのは、私が31歳の時でした。経験不足ながらも無我夢中で取り組みました。当時の井手一郎先生はじめ病院スタッフの方々のご指導とご協力、また戸田建設の出水清美作業所長の多岐にわたる助言で、何とか完成の日を迎えることができました。高齢者といわれる年齢になつた私の青春の輝ける思い出です。（福岡県古賀市花鶴丘3丁目）

武谷茂（元医療法人たけや小児科院長、聖マリア病院小児科初代医長）聖マリーア病院では、1972年に小児内科（医師1名）が誕生し、75年には24時間対応の小児救急診療体制（医師2名）がスタートしました。そして、78年7月には新生児科と小児内科、小児外科を合体した「新生児・小児救急医療センター」が完成し、ここを活動基地として35年間、本格的な小児救急医療が展開されました。さらに2006年には公認された日本一の「久留米広域小児救急センター」が確立し、地域の皆さんに「子育て安心の筑後“”を提供できるようになります。この度、長い年月小児救急の舞台となつたセンターが解体されることになり、創設当初から深くかかわってきた私は感無量

く限り続けていく所
県太宰府市宰府3丁目

は、新生児科での勤務時代の多くの経験がなければ、おそらくやれてこなかつたのではないかと思ひ巡らせて います。新生児センターの「地域に生まれた新生児が必要な医療を受けられなくて死んでいくことがないよう」 というモットーのもと、依頼があつたら絶対に断らないといふ方針と年中無休 24 時間診療体制で大きく影響を受け、開業してもこれを持させていきたいという意気込みと「若さと情熱」をいつまでも持ち続けるという信念で行つてまいりました。これからも体力と元気が続

です。（福岡県久留米市諏訪野町）

北京の日中友好病院の外国人専門外来へ出向しました。北京の日本大使館へ崩御された昭和天皇の弔間に訪れたのも懐かしい思い出です。（福岡市城南区神松寺3丁目）

中嶋博文（医療法人中嶋医院院長）



さようなら! ありがとう! 聖マリア病院 新生児・小児救急医療センター



聖マリア病院の新生児・小児救急医療センターは、重症新生児の入院数が増加したことに対応するため開設されました。東側エントランスには地上から3階天井まで2本の柱が立ち上がり、重厚なデザインが際立っていました=2016年3月撮影

小児棟の解体 間近…ゆかりの17人 思い出語る



の診療の根本に流れているように思います。橋本先生からは健康で生まれた赤ちゃんをたくさん診るようにと指導され、産科病棟の新生児室にも随分お世話になりました。

開業して10年が経ちましたが、今でもマリアでの日々を思い出せます。救急の心は忘れまいと小さな田舎町で診療継続中です。上の写真はNICUで回診中の橋本先生（中央）から指導を受ける私です。（北海道夕張郡栗山町中央3丁目）



「Sanctum Domus Infantum (赤ちゃんの聖なる家)」と記されたエムブレム=センター玄関正面

西見寿博
(にしみこどもクリニック院長、元聖マリア病院小児科診療科長)初めて新生児センターに勤務したのは研修2年目の夏でした。橋本武夫先生に憧れて、超多忙ではあるが必ず研修すべき診療科の一つとして新生児センターに入りました。

その当時は点滴もろくにとれない技量で不安一杯だったことを思い出します。センターは当時、日本有数のN

ICU、GCCUを誇り、活気に満ちていました。看護師の力量は研修2年目の私ははるかに越えており、赤ちゃんの見方や接し方を実地の中で教えられました。

ドクターカーに乗つて熊本県荒尾市や長崎県大村市まで行つたり、網膜症の治療のため福岡大学眼科へ数人のベビーちゃんを一度に連れて行つたりと、楽しいこともありました。当時指導を受けたベビーの見方やカーレテの記載の仕方は、現在に至るも私も

子宮がん

切らずに治す放射線治療

「子宮がんと言われ手術か放射線治療を勧められたけど、手術はしたくないし、放射線で疲れたり後遺症も心配だ」という話を聞きます。でも大丈夫!現在の放射線治療は照射機器の著しい進歩とコンピューターを用いた高度な医療技術により、安全で有効な治療手段なのです。

◆正常臓器への影響小さく

放射線治療は切らずに治すがん局所の物理的治療で、臓器温存ができます。これには体外から病巣へ広い範囲に照射する方法と、体の奥深い場所に位置するがん病巣のど真ん中から照射する二つの方法があります。

それぞれに治療での役割は異なりますが、体外照射に加え、子宮腔内照射を併用しています。がん病巣の中心に放射線を発生するコバルト線源を置きますので極めて強力で、なおかつ放射線が急激に減衰するため、病巣周囲の正常臓器にはほとんど影響を及ぼしません。まるで「竜巻」のようですね。

現在は子宮腔内に入れられたコバルト線源からどのようにがん病巣および周囲臓器に放射線がかかるかを、体の地図ともいえるCT画像の上にちょうど等圧線天気図のように貼り付けた線量分布を作成し、治療効果と安全性を担保しています(図1、2)。もちろん直腸に線量計を入れて実際にかかっている放射線も測定しています。

子宮頸がんは子宮の入り口にでき、前に膀胱、後に直腸など重要臓器と隣接していますので、このように二重三重のチェックをしているのです。

先進メディカルセンター長・
放射線治療科主幹
平田秀紀



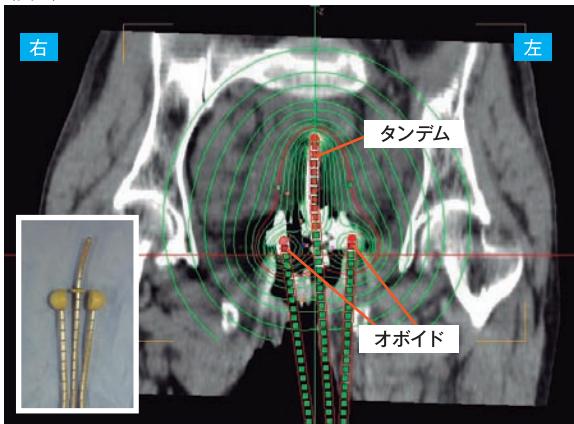
腔内照射は一般にラルスと呼ばれています。もちろん全身麻酔の必要はありません。子宮腔内にはタンデムという細長い器具(図1左下)を、腔内にはオボイドという丸い器具(同)をそれぞれ挿入し、これらの器具の中にコバルト線源が入りますので、器具を挿入してしまえば後は安静にしているだけです。

◆照射時間わずか10分

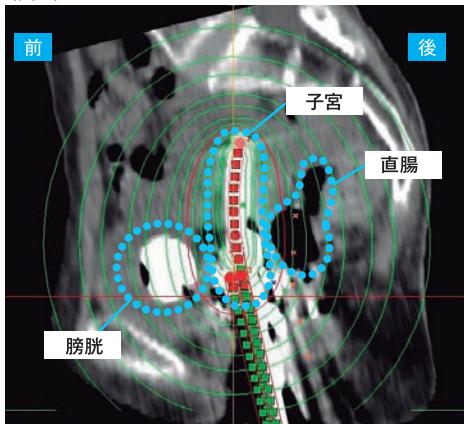
前処置から終了まで1時間足らず、照射時間はわずか10分程度です。器具挿入から線源配置は放射線科専門医により行われ、機器操作と安全管理は放射線治療専門技師が担当しています。もちろん専任の看護師も含めたチーム医療です。

コバルトによるこのような治療は筑後地区では聖マリア病院のみとなっており、久留米大学をはじめ近隣病院との緊密なる連携があります。もちろん保険診療です。既存の医療資源を利用して低コストで最良の治療を受けましょう。

〈図1〉



〈図2〉



天気図の等圧線のようにみえるCT画像上の放射線線量分布図(緑色)。図1は正面画像、図2は左側面画像。線量が急減衰するため子宮以外の臓器への影響を小さくできる。図1左下は放射線源を入れるタンデム(中央)とオボイド(左・右)

第25回 「ロコモ」予防 筋持久力を鍛えよう

ロコモティブシンドローム(ロコモ=運動器症候群)は、筋肉や関節などの働きが低下した状態で、寝たきり・要介護状態の要因の一つ。この連載では、ロコモ予防のためのエクササイズを紹介します。



聖マリアヘルスケアセンター
ヘルスケアトレーナー
大渕 勝敏
米国スポーツ医学会認定HFS

Check! 片足立ちで靴下を履けますか?

「上半身の筋持久力トレーニング」

ふとんの上げ下ろし、洗濯物干し、掃除など日常生活のいろんな場面で疲れやすくなっています。その原因は筋持久力の低下かもしれません。

筋持久力とは、筋肉に負荷をかけた状態で動かすことができる範囲をいいます。例えるなら、山登りなど長時間歩いて足にガクガクとした負担がこないならば、筋持久力が高いといえます。筋持久力を高め、けがをしにくい体づくりを目指しましょう。



- ① タオルを両手で持ち、ひじを伸ばして頭の上へ上げ、タオルを引っ張る



- ② タオルを引っ張ったまま息をゆっくりはきながら頭の後ろへ下ろす。



- ③ 息を吸いながら上へ上げて再びはきながら頭の後ろへ下ろす。

この動作を10~20回繰り返しましょう。

今回は元気な姿勢を保つために重要な背中の筋肉を鍛えるエクササイズを紹介しました。筋持久力は20回くらい動かすことができる負荷を加えながら運動することがポイントです。積極的に運動を続ければ、高齢者であっても十分に筋力の維持や増進が可能です。週に2回を目安にぜひ継続してください。

トマトカレー

夏バテなんか飛んでいけ～

健康に生きていくために大切な「5大栄養素」である炭水化物、たんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラルは、運動器の機能を保つ上で欠かせません。料理別にわけると、炭水化物は主食(ごはんやパン、麺など)、たんぱく質は主菜(主なおかず=肉、魚、卵、大豆製品)、ビタミン・ミネラルは副菜(付けあわせのおかず=野菜、きのこ類、海藻類など)の3つです。

主食と毎食、主菜1品、副菜1品に加えて、毎日、牛乳または乳製品や果物を取りましょう。暑い日が続くと、そうめんや冷麦など炭水化物に偏った食事を取ることが多くなり、栄養バランスが崩れがちです。

今回、5大栄養素がバランスよく含まれ、食欲増進

にも繋がる夏野菜や香辛料(カレー粉)を使った一品、トマトカレーをご紹介します。

トマトは、βカロテン(ビタミンA)、リコピン、ビタミンC、ビタミンE、カリウム、食物纖維など、たくさんの栄養素を含み、健康効果が高い食材です。ビタミン類やリコピンは、疲労回復に効果が大きく、抗酸化作用で運動中・運動後に残りがちな疲労をやわらげます。運動を始める前に、トマトジュースを飲むのも効果的ですよ。



作り方

- 1 ポテト、玉ねぎ、人参は、皮をむき、1センチ角に切る。
- 2 生姜はみじん切りに切る。
- 3 人参は軽く下ゆでする。
- 4 トマトは皮を湯むきし、種を取り、1センチ角に切る。
- 5 鍋にマーガリンを入れ、みじん切生姜、玉ねぎを炒める。

- 6 玉ねぎが色づいたら、カレー粉を加え、下ゆでした人参、トマト、ダイストマト缶を加えて、煮る。
- 7 牛肉に小麦粉をまぶし、ポテト、ミックスビーンズを加えて煮る。
- 8 ポテトが煮えたら、カレー、カレーフレーク、ソース、フルーツチャツネを加えてひと煮し、味を調える。
- 9 器に温かいご飯を盛り、トマトカレーをかける。



☆調理のポイント☆

水分を加えないトマトカレーです。トマトの水分がかぎとなりますので、完熟を選びましょう。☆聖マリア病院の夏メニューの昼食で提供しています。

材料〈2人分〉

精白米	90g×2	玉ねぎ	40g×2
牛肉	30g×2	トマト	40g×2
カレー粉	0.1g×2	ダイストマト缶	20g×2
ポテト	25g×2	人参	20g×2

1人分の栄養素 热量629kcal たんぱく質13.1g 脂質20.5g 塩分2g ビタミンC19mg カリウム539mg

ミックスビーンズ	10g×2 (または大豆水煮)	カレー(市販)	9g×2
生姜	2g×2	カレーフレーク	8g×2
マーガリン	3g×2	小麦粉	0.5g×2
ソース	2g×2	フルーツチャツネ	1.5g×2 (なければバナナなど)

聖マリア病院
栄養指導管理室長
立野 順子

お知らせ
紹介状なしで受診される患者さんへ

聖マリア病院など一般病床500床以上の「地域医療支援病院」や、大学病院などの「特定機能病院」は、他の病院・診療所の紹介状をお持ちにならず受診される患者さんから、初診・再診にかかる定額費用（保険外併用療養費）を診療費とは別に徴収することが義務づけられました。

医療保険制度改革関連法の4月1日施行に伴うものです。
全国約250カ所のこれらの病院が、より高度な医療を必要

とする患者さんの治療に専念する一方、一般的な外来受診は「かかりつけ医」を受診するという効率的な国際化制度の浸透を図るのが目的です。

どうぞ、ご理解とご協力を願いいたします。

定額費用＜医科・歯科同額＞

初診の方 … 5,400円（税込み）

再診の方 … 2,700円（税込み）

※急病や自然災害などで搬送された場合、再診予約中や当院の他の診療科を受診中など、定額費用負担の対象外となる場合がございます。

窓口にてお尋ねください。

※詳しくは当院のホームページ <http://www.st-mary-med.or.jp/patient/senteiryouyouhi.php> をご覧ください。

訪問看護ステーション

訪問看護では、ご自宅で療養生活を送られている乳幼児から高齢者まですべての方を対象とし、かかりつけ医の指示のもとに必要な訪問看護とリハビリテーションを提供させていただきます。

訪問看護

- 医師の指示による医療
- ターミナルケア
- 末梢静脈挿入
- ご家族の介護支援・相談
- 病状の観察
- 医療機器の管理
- 療養上のお世話
- 認知症の看護



訪問リハビリテーション

- 食事・排せつなど生活のリハビリテーション
- 関節や筋力訓練など心身機能のリハビリテーション
- 福祉用具の利用助言など環境のリハビリテーション

お問い合わせ

聖マリア訪問看護ステーション
0942-39-8903

聖マリア病院 聖母病棟1F

聖マリア病院
鳥栖訪問看護ステーション
0942-81-1134

佐賀県鳥栖市神辺町1588-6

■営業日／月曜～土曜（日曜・祝日・お盆・年末年始は休みます）

※利用料金、医療保険・介護保険などについて、お気軽にお問い合わせください。

聖母の家 通所リハビリ（デイケア）

聖母の家通所リハビリでは、リハビリテーション・レクリエーションなどの機能訓練を中心としたサービスを行っています。また、ご家族の介護負担を軽減できるよう、入浴や食事のサービスも行っています。医療機関やご家族と連携を行いながら、在宅生活が継続できるように支援させていただきます。

- リハビリテーション
- 入浴
- レクリエーション
- 食事



お問い合わせ

0942-34-3573 聖マリア病院併設

■ご利用の対象者／要介護度1～5に認定された方（要支援1・2の方も、ご相談ください）

■営業時間／8:30～17:00

■営業日／月曜～土曜（日曜・祝日・お盆・年末年始は休みます）

■定員／40名/日

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院

福岡県久留米市津福本町422

TEL 0942(35)3322(代)

FAX 0942(34)3115(代)



聖マリアヘルスケアセンター

福岡県久留米市津福本町448-5

TEL 0942(35)5522(代)

FAX 0942(34)3306(代)

聖母の家

福岡県久留米市津福本町387-1

TEL 0942(34)3573(代)

FAX 0942(34)4165(代)

外来診療日 - 聖マリア病院

電話 0942(35)3322(代)

2016年9月1日現在

診療科	診療日 ★印は備考欄参照							備 考	診療ブロック
小児科	午前・午後	月	火	水	木	金	土	小児科は15歳まで	1階
新生児科*	午前・午後	月	火	水	木	金	土	緊急時以外は電話予約制。周産期の発達フォローに対応します	
小児外科	午前・午後*	月	火*	水	木	金	土	午後と火曜は急诊のみ	
小児歯科	午前・午後*	月	火	水		金	土	午後は予約制。初診は事前連絡ください	
矯正歯科	午前*・午後*	月	火	水	木	金	土	午前・午後とも予約制	
循環器内科	午前	月	火*	水	木	金	土	火曜は午後も	2階 Sブロック
小児循環器内科	午前・午後		火			金			
心臓血管外科	午前		火*	水*	木			火曜外来開始は10:00。水曜は予約制	
糖尿病内分泌内科	午前	月	火	水	木	金	土		
消化器内科	午前	月	火	水	木	金*	土	金曜は紹介患者のみ	3階 Aブロック
外科	午前	月	火	水*	木	金	土	水曜午後は再診のみ受け付け	
移植外科	午後	月		木*	金			初診は完全紹介電話予約制。木曜は午前	
脳神経外科	午前	月		水*		金		水曜午後は再診のみ受け付け	
脳血管内科	午前	月	火	水	木	金	土		3階 Bブロック
神経内科	午前		火		木				
リウマチ膠原病内科	午前	月	火	水		金	土	初診は完全紹介電話予約制	
整形外科	午前	月	火		木	金	土		
小児整形外科	午後						土*	再診は予約制。初診は予約不要	3階 Cブロック
呼吸器内科	午前	月*	火	水	木	金*	土	月曜・金曜は再診のみ	
呼吸器外科	午前			水		金			
形成外科	午前	月	火	水	木	金	土	熱傷は形成外科。眼瞼下垂は雑賀医師、内田医師担当	
皮膚科	午前	月	火	水	木	金	土		3階 Dブロック
泌尿器科	午前	月	火	水	木	金	土		
腎臓内科	午前*	月	火*	水	木	金	土	外来開始は9:30。火曜は再診のみ	
産科・婦人科	午前・午後	月	火*	水	木*	金	土*	火曜・木曜の産科初診は午前のみ、婦人科初診は午後のみ 土曜は午前、紹介患者・急患のみ。午後初診受付は11:30まで	
放射線治療科	午前	月		水		金			3階 Eブロック
乳腺外科	午前	月	火	水		金	土*	土曜は第1、第3、第5週のみ	
血液内科	午前・午後	月	火	水	木	金	土*	土曜は午前のみ。急患以外は予約制。初診受付は13:30まで	
緩和ケア内科	午前・午後	月*		水	木			月曜は午後のみ。予約制	
精神神経科・心身症クリニック	午前*	月	火	水	木	金	土	初診は予約制	
歯科・口腔外科	午前・午後*	月	火*	水	木	金	土	火曜は午前のみ。午後は予約制	3階 Fブロック
耳鼻いんこう科	午前	月*	火*	水	木	金*	土	月曜・火曜・金曜は手術日のため紹介患者のみ	3階 Gブロック
眼科	午前	月	火	水	木	金	土		

外来診療日 - 聖マリアヘルスケアセンター

電話 0942(35)5522(代)

2016年9月1日現在

診療科	診療日 ★印は備考欄参照							備 考	診療ブロック
生活習慣病科	午前・午後	月		水	木	金	土	専門外来として「禁煙外来」を開設。予約制	1階 診療室1
内科	午前*		火					予約制	1階 診療室2
リハビリテーション科	午前・午後*	月	火	水	木	金	土	退院患者対象の外来リハビリテーション。予約制	1階 診療室3
透析科	午前・午後*	月	火	水		金	土	予約制	2階 透析センター
消化器内科	午前・午後*	月	火	水	木	金	土	内視鏡診療外来を実施。予約制	3階 内視鏡センター

専門外来診療日

2016年9月1日現在

診療科	専門外来名	担当医師	診療日	電話予約制	診療ブロック
小児科	小児神経外来	永光信一郎	第2木曜午前	□	1階
	小児アレルギー外来	岡松由記	第1・第3月曜午後	□	
	岩谷麻実	第2・第4月曜午後	□	□	
新生児科	小児腎外来	財津亜友子	第2・第4水曜午後	□	1階
	育児療養外来	橋本武夫	第1・第3火曜午前	□	
	新生児腎外来	田中征治	第4月曜午後	□	
新生児科	新生児神経外来	中島正幸	第1水曜午後	□	1階
	山下裕史朗	奇数月 第1土曜午後	□	□	
小児歯科	口唇口蓋裂外来	湯浅健司	火曜	□	
循環器内科	血管外来	大江健介	木曜午前		2階 Sブロック
		相良秀一郎	金曜午前		
	不整脈外来	高瀬進	月曜午前		
		安徳喜文	水曜午前		
	睡眠時無呼吸外来	田代英樹	木曜14:00~15:30	□	
消化器内科	ペースメーカー外来	担当医(交代制)	第3火曜午後	□	3階 Aブロック
	成人先天性心疾患外来	廖千恵	金曜・土曜 9:00~11:00	□	
消化器内科	ピロリ菌除去外来	酒井輝文	金曜午前	□	
	肝癌予防外来	酒井輝文	水曜午後	□	
	C型肝炎外来	酒井輝文	金曜 10:00から	□	
呼吸器外科	気胸外来	大渕俊朗	水曜・金曜・緊急時		3階 Bブロック
形成外科	口唇口蓋裂・クラニオ外来	雜賀厚臣	火曜・木曜午前	□	3階 Cブロック
		内田悠記	火曜午前・午後	□	
	フットケア外来	雜賀厚臣	月曜・木曜 13:30~16:30	□	
	メディカルアロマテラピー外来(保険外診療)	担当医(交代制)	水曜・金曜 9:00~16:00	□	
腎臓内科	CKD外来	松井礼	金曜午後		
産科	超音波外来	下村卓也	木曜午後		3階 Dブロック
婦人科	子宮腫瘍外来	村上文洋	水曜午後	□	
血液内科	止血異常症外来	岡村孝	火曜午前・木曜午前		
生活習慣病科	禁煙外来	福井卓子	月曜・水曜・木曜・金曜・土曜	□	聖マリアヘルスケアセンター

●診療受付時間

原則8:30~11:30(診療開始9:00)。午後は予約制。平日夜間救急と日曜祝日は地域医療支援棟1階で受け付けます。

●夜間・日曜祝日の当直体制

内科・外科・整形外科・産婦人科・形成外科・小児科・新生児科・脳神経センター・腎センター・循環器センター・画像診断部の各医師。眼科は夜間のみオンコール(呼び出し)制です。

●耳鼻いんこう科・皮膚科・歯科について

夜間・日曜祝日の診療は行っておりません。

●ご予約変更受付

14:00~16:00

※事情により変更が生じる場合があります。ご了承ください。

最新の情報は、聖マリア病院ホームページをご覧ください。

http://www.st-mary-med.or.jp/download/gairai_taisei.pdf

